

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Little Labo			
○保護者評価実施期間	令和7年3月1日		～	令和7年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1 6 世帯	(回答者数)	1 4 世帯
○従業者評価実施期間	令和7年3月1日		～	令和7年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 名	(回答者数)	9 名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お出かけなどの社会性を身に付ける支援プログラムの充実	毎週土曜日や祝日はお出かけをメインとした活動を行なっています。外出先が固定化しないよう横浜や川崎、東京など幅広い地域の中から安全に外出できる場所をピックアップして設定しています。また、移動手段は車に限らず電車やバスなどの公共交通機関も利用することで正しい利用方法や社会的マナーを身に付けられる機会を増やせるよう工夫しています。	電車やバスを利用する際にSuicaやPASMOなどのICカードの使用が主流となり、切符購入時などの金銭授受のやり取りの機会が減少してしまっていることが課題としてあげられます。今後、お出かけ先での実践以外でもお金の価値や金銭授受について学び練習できる活動プログラムについて検討し社会性を身に付ける支援プログラムをさらに充実したものにしていきます。
2	パソコンスキルの上達を目指した活動プログラム	ローマ字学習やタイピング練習などパソコンスキル向上を目標にした活動を行っています。タイピング練習では、ゲーム性のあるタイピングソフトを使用するなどお子様が楽しく取り組みながらスキル練習ができるよう工夫しています。	毎年の年間カレンダーをパソコンを使用して作っています。今後はさらに、ワード・エクセル・パワーポイント等のパソコンソフトを使用した制作物を作る作業を活動の中に積極的に取り入れ、パソコンスキルを身に付ける機会を増やすなど将来を見据えた活動プログラムに力を入れて取り組んでいます。
3	工作プログラムの充実	活動内容が固定化しないよう工夫を凝らし、リボンレイや小銭入れ、巾着やペンケースなど豊富な種類の作品を活動の中でお子様と一緒に作り上げてきました。時には裁縫道具やミシンなども使用し、お子様が物づくりの中で自己肯定感や創造力、計画性や問題解決能力を育み、実践的なスキルが身に付けられるよう活動に力を入れています。	プログラムの内容を定期的に見直すことで新しい技術やトレンドを取り入れ、常に新鮮で効果的な活動を提供していくと共に改善点も見つけていきます。お子様がさらに工作活動を楽しめるよう様々な観点から方法についてもアプローチし、より充実したものにしていこう力を入れていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会の開催ができていない	コロナウイルス感染症が落ち着いた時期には、夏祭りなどのイベントを通して交流ができる場を設けていましたが、それでも感染症拡大予防対策として枠を時間で区切る形で接触を最低限に限定していました。今後は適切な方法でさらに密に情報共有や交流を図ることが出来る機会を増やしていくことを課題としていきます。	保護者様やご家族（きょうだい児含む）の参加型のイベントを多く企画していきます。また、多くのご家庭が参加しやすいよう日程はあらかじめアンケートをとり調整し、会場も十分なスペースが確保できる場所を検討するなど工夫していきます。
2	地域コミュニティとの交流が少ない	夏祭りなどのイベントに地域住民を招待して交流の場を設けてはいますが、現段階では交流できる企画が少ないため今後はイベントなど企画を増やしていくことを課題としていきます。	お子様の安全や感染症対策に考慮した上で、周辺地域で行われる地域イベントに積極的に参加し地域との交流の場を増やして地域コミュニティとの関係構築を深めていきます。
3			